

令和5年(2023年)7月21日
第2回総合教育会議
資料 2 - 3

不登校等子育て支援および教育支援室の取組から



守山市教育研究所

所長 脇阪 久徳

守山市の状況

人口(令和5年5月31日) 85,704人

◇小学校 9校 児童数 5,711人

※守山小学校 児童数 1,072人 40学級

※中洲小学校 児童数 141人 8学級

◇中学校 4校 生徒数 2,782人

※守山南中学校 生徒数 1,137人 40学級



守山市の不登校児童生徒の現状について

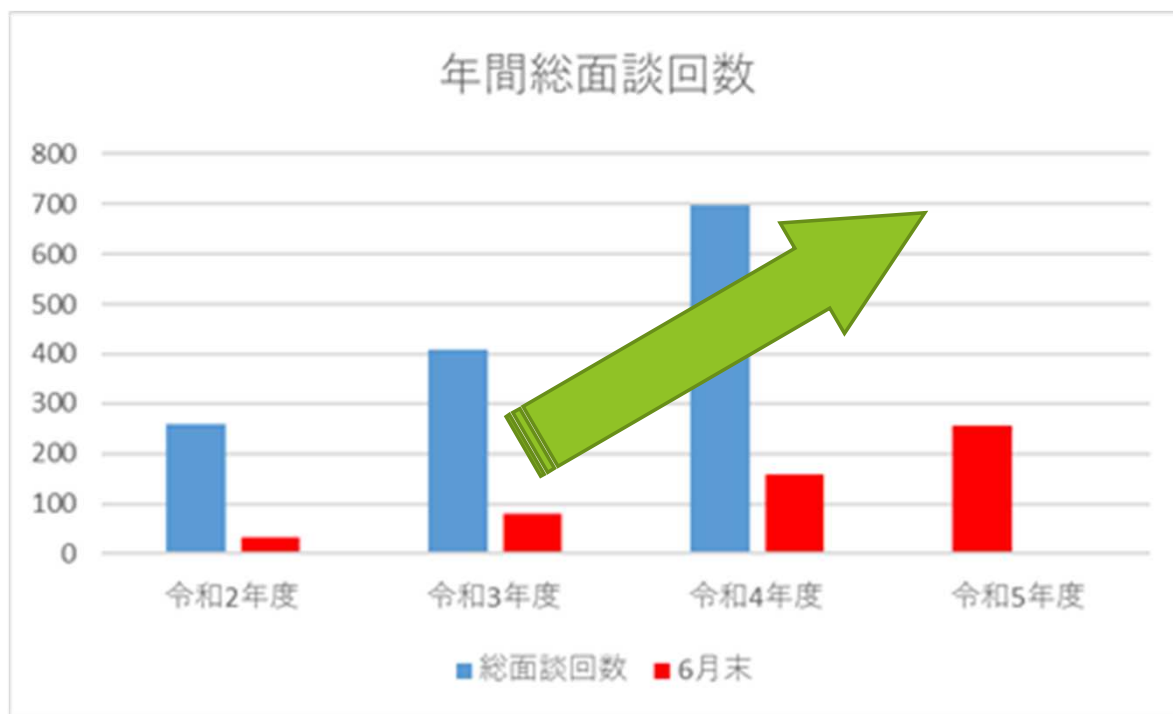
◇小学校	全 国		滋 賀 県		守 山 市	
	人 数	在籍率	人 数	在籍率	人 数	在籍率
平成 30 年度	44,471 人	0.70%	617 人	0.76%	34 人/5,862 人	0.58%
令和 元年度	52,905 人	0.84%	731 人	0.90%	42 人/5,543 人	0.84%
令和 2 年度	52,521 人	1.00%	851 人	1.65%	55 人/5,841 人	0.94%
令和 3 年度	80,825 人	1.32%	1,066 人	1.33%	69 人/5,817 人	1.19%
令和 4 年度					109 人/5,711 人	1.91%

◇中学校	全 国		滋 賀 県		守 山 市	
	人 数	在籍率	人 数	在籍率	人 数	在籍率
平成 30 年度	114,352 人	3.31%	1,316 人	3.37%	80 人/2,667 人	3.31%
令和 元年度	122,519 人	4.12%	1,335 人	3.30%	73 人/2,668 人	2.77%
令和 2 年度	127,671 人	4.30%	1,358 人	3.49%	82 人/2,674 人	3.11%
令和 3 年度	157,019 人	5.26%	1,835 人	4.66%	144 人/2,754 人	5.23%
令和 4 年度					152 人/2,782 人	5.43%

不登校児童生徒の支援に悩む教職員に頼りにされ、子どもや保護者の拠り所となる教育研究所に

教育相談について 1

○児童生徒や保護者の悩みや不安に寄り添う支援
(児童生徒と保護者の並行面談)



今年度は、前年同期比 **1.6倍**の増加！

教育相談について 2

◇相談の内容から◇

○不登校、子育てに悩む相談が9割を占める

- ・学校生活に困難さを抱えている（学習、集団活動・対人関係など）
- ・小さい頃から行き渋りがあった
- ・家族に自分の思いを話せない、受け止めてもらいにくい

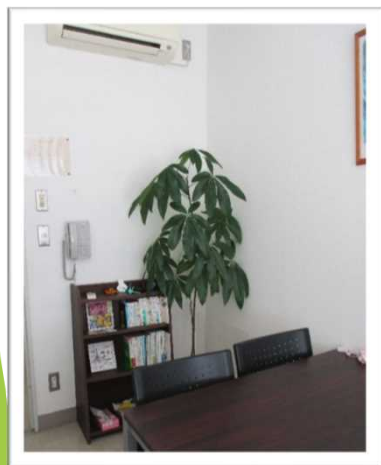
◇課題の多様化◇

○医療・福祉・発達など、児童生徒および保護者の抱える課題が多岐にわたる

- ・保護者の教育相談だけにとどまって、本人は来所できないケース
- ・来所はできていないが、教育相談につなぐことが望ましいケース
- ・教育相談員との1対1面談から進むことができないケース

なかなか難しい！

☆教育相談から、くすのき教室へ



くすのき教室の活動について 1

＜指導体制＞

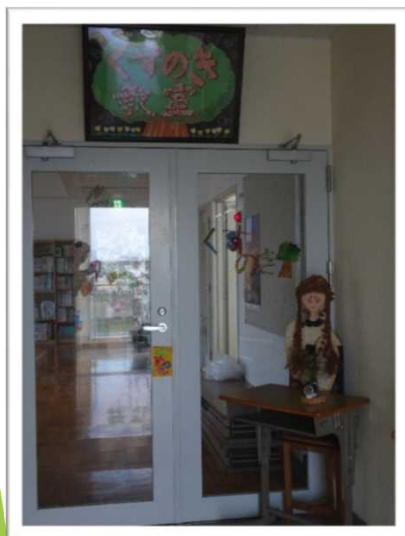
指導員1名、学生ケアサポーター、（教育相談員）

不登校児童生徒の人間関係づくり、情緒の安定・学習補充等のサポートを行い、その社会的自立を支援する。

- ・ 学習状況に応じた個別学習支援
- ・ 各種体験活動や集団活動（実習、遠足、外部講師による体験活動）

くすのき教室年間在籍児童生徒数（体験入室含む）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学生	在籍人数	4（0）	5（2）	5（3）	2
	修了者数	2	2	2	
中学生	在籍人数	8（2）	7（4）	7（4）	7
	修了者数	4	4	4	
計	在籍人数	12	12	12	9
	修了者数	6	6	6	

- ・ 体験、通室してもその集団にうまくなじめないケースがある



くすのき教室の活動について 2

《 くすのき教室時間割表 》					
時程 \ 曜日	月	水	木	金	
	9:30～ 9:45	予 定 を 立 て る			
1	9:45～10:35	学 習	学 習	学 習	学 習
2	10:40～11:30	学 習	学 習	学 習	学 習
3	11:40～12:30	学習（みそ汁作り）	学習（みそ汁作り）	学習（みそ汁作り）	学習（みそ汁作り）
	12:30～13:00	昼 食 ・ 休 憩			
4	13:00～13:50	くすのきタイム	くすのきタイム	くすのきタイム	くすのきタイム
5	13:50～14:45	フリータイム／面談	フリータイム／面談	（クッキングタイム）	フリータイム／面談
	14:45～15:00	そ う じ / 反 省			

☆時間・曜日は自分で決めて通室する。毎週火曜日は、学校チャレンジデー

＜学習支援活動＞

- ・自分の課題に合わせて学習
（新研究、学校のワークなど）
- ・ICTの活用
（学校の授業とつないでオンライン学習、すらら）
- ・学校と連携し、必要に応じて定期テストや実力テストの実施



くすのき教室の活動について 3

＜くすのきタイム（集団活動）活動＞



＜調理実習活動＞



くすのき教室の活動について 4

＜外部講師による体験活動（滋賀次世代文化芸術センター美ココロ事業など）＞



◇支援を広げる・機会を増やす◇

ある事例から（Aさん）

小学校1年生の頃より「行きたくない」と行き渋りがあった。4年生の頃までは「いや」と言いながらも、遅刻や早退をしながら、ほぼ毎日登校できた。学年が上がるにつれ、別室の時間が増える。5年生2学期ころより、まったく登校できなくなる。5年生の10月よりくすのき教室へ。

○本人の意思を育む（進路選択）

- ・タイムリーで適切な声掛け（学校・くすのき）

○学校と緊密な連携、ケース会議の実施

- ・学校の協力、学校からのこまめな連絡

○保護者とのきめ細かい面談（適宜・月に1回程度）

○適切なアセスメント

- ・期待に応えようと頑張りすぎる
- ・母親の過干渉、心配性、不安

○専門機関との連携（守山市民病院・守山市発達支援課）

現在 中学校2年生 中学校に入学後は、時には疲れて欠席の日もあるものの、毎日登校できている。

今年の「私の思い」の学級発表会では、「私は不登校やった」と、自分の経験談を作文につづり、学級代表となり学年の場でも発表している。

教育相談・くすのき教室の活動から大切なこと

○安心・信頼そして拠り所

保護者や児童生徒から「**安心**」してもらえる。
学校、教職員から「**信頼**」してもらえる。

○きめ細かな連携

- ・校内組織の課題（ **管理職のリーダーシップ**、教育相談主任のフォローアップ）
- ・小中連携と **就学前との連携**（学校教育課、保育幼稚園課）
- ・学校との連携（**子どもの情報交換**とアセスメント）
- ・専門機関（発達支援課、専門医など）

○個別の悩みや不安を持つ子どもへの対応と支援の広がり

- ・適切なアセスメント
- ・充実した**学び**や**体験**、**温かい関わり**
- ・**つながりの薄い子どもや保護者へのアプローチ**

○相談員・指導員の資質向上

- ・事例検討会や運営懇談会でSVからの指導助言
- ・**経験値**を高める

今後に向けて

○きめ細かな連携

- ・組織的な課題の改善（校長のリーダーシップ・指導助言）
- ・現場に入り込んでの情報交換
- ・就学前教育の重要性

○多様な悩みや不安を持つ子どもへの対応と関わりのない子どもへの支援

- ・ケアサポータ派遣事業
- ・滋賀次世代文化芸術センター（美ココロ事業）等の体験活動の重要性
- ・各校の別室登校や行き渋りのある子どもや保護者も、ともに体験活動を

○相談員・指導員の資質向上

- ・事例の紹介
- ・学びや体験活動および教室環境等の交流
- ・研修機会の確保

子どもを社会で自立できるようにするのではなく
子どもが自ら社会で自立できるように支援する。

☆真摯に誠実に、温もりと情熱を持って☆
「教育は人なり」